

ウメ ‘新平太夫’ の完熟果収穫

1 はじめに

南越前町河野地区で栽培されているウメ ‘新平太夫’ は、完熟果で収穫し「黄金の梅」として加工業者等に出荷されていますが、収穫方法や収穫場所の違いにより熟度にばらつきが生じており、加工品質の不安定要因となっています。そこで、ウメの生育ステージ（胚固化完了期）を把握することにより果実の完熟落果予測ができること、また収穫時や収穫後の追熟における果皮色の指標となるカラーチャートを作成したので紹介します。

2 果実の胚の状態を調べ、落果する時期を予測します

5月下旬から数日間隔で、果実を半分に切って、中の胚（写真の白い部分）の状態を調べ、完全に詰まった時期、つまり胚固化完了期を把握します（写真1）。



写真1 胚固化の状況(左:5%。中:50%、左:95%)

次に、美浜町アメダスの気温をもとに、胚固化完了期から落果期を予測します。胚の固化が完了した日から平年の平均気温を積算し、約530°Cで20%、約600°Cで50%が落果する目安となります。

3 収穫時に青い果実も追熟3~4日で当日落下果実と同じ黄色になります

樹に成っている果実を手もぎで収穫し、その果実の色を目で見て「青い」と判断した果実でも追熟3~4日すると当日落下（ネット収穫）した果実と同程度の色になることがわかりました。また、手もぎ収穫で「黄色」と判断した果実は1~2日の追熟で当日落果と同様の色となります（表1）。

表1 ‘新平太夫’ 追熟後の果皮色の変化(大良地区)

収穫日	果実採取	果皮色	収穫時重さ(g)	黄化度*				
				直後	1日後	3日後	5日後	
7月1日	落果	青	16	76	96	132	212	
		黄	25	130	176	292	791	
	樹上	青	27	86	100	173	326	
		黄	29	120	143	320	562	
7月5日	落果		32	171	185	381	701	
	樹上	青	28	96	106	176	355	
黄		36	180	228	351	762		
7月9日	落果		30	209	271	484	923	
	樹上	青	21	103	136	192	339	
黄		30	195	268	584	983		
7月13日	樹上	青	24	102	121	168	247	
		黄	30	247	312	566	1000<	

*黄化度: 数値が高いほど濃い黄色

4 カラーチャートを活用して完熟果を出荷

日本園芸植物標準色票という基準となる色を用いて果皮の色を調べたところ50色にも分類され、その内代表的な系統10色でカラーチャートを作成しました（写真2、表2）。

収穫時や追熟後にカラーチャートを活用して果皮の色の判定を行い、果皮色の揃った果実を選んで出荷することができます。

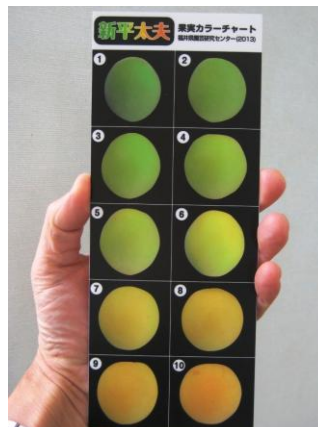


写真2 カラーチャート

表2 カラーチャート番号と主たる系統色名

番号	系統色名	具体的色名
1	濃黄緑	濃い(暗い)緑
2	穏黄緑	淡い緑
3	明黄緑	やや黄色がかった緑
4	黄緑	明るい黄色がかった緑
5	緑黄	明るい緑がかった黄色
6	明緑黄	全体に淡い緑色が残る黄色
7	穏緑黄	わずかに緑色が残る黄色
8	明黄	淡い橙色が入る黄色
9	橙黄	黄色が残る淡い橙色
10	鮮黄橙	橙色

(園研セ ウメ果樹G 冬廣吉朗)